

あなたの優しさと愛情を 難民・貧困地域に届けよう

2021.07.07

カンボジアの子どもたち

- ・1970年から約20年間続いた内戦が終わったあとも、国内は都市部と農村部で大きな生活格差が続いています。
- ・生活水準は一人1日2ドル。これでは食料を買うだけで精一杯です。使い捨てマスクは買えません。
- ・通学距離と就労のために義務教育を終えられるのは極少数。
- ・日本の学校にあって、カンボジアの学校にないもの。校庭の遊具がありません。
- ・蛇口をひねれば出てくる水道も整備されていません。生活用水は井戸です。

市邨高校 S D Gs 有志メンバー

昨年、新型コロナの影響で臨時休校になっていた期間を利用して、カンボジアの子どもたちのことを学びました。カンボジアで活動している加藤大地さんともオンラインで話を聞きました。そこで、市邨高校と台湾・韓国の高校生、この取り組みを知った全国の人たちと協力して、約3000枚近くの手作りマスクと石鹸を届けることができました。



カンボジア手作りマスクプロジェクト

愛情の詰まった手作りマスクを届けます

- 小さめ・Kidsサイズの布マスクを作ってください。
- ひとつずつ個包装にしてください。
- 9月10日(金)までに松野先生へ届けてください。
- 郵送(9/10必着)でも受け付けます。
- 作ったマスクと一緒に撮影した写真も送ってね。

ユニクロ「服のチカラプロジェクト」

着られる洋服「服のチカラ」を届けます

- 子ども服(Mサイズまで)を集めています。
- 洗濯をして持ってきてください。全メーカーOK!
- 肌着・下着やくつ下はNGです。
- 7月の懇談会に(109教室前)へ持参してください。
- 10月の文化祭が最後の回収となります。



SDG 有志メンバーは、地域、企業、外部の専門家と連携・活動しています。一般社団法人 Kisso (加藤大地氏) と協力して、オンライン授業、子ども服支援、カンボジアの公立小学校に遊具(ブランコ)と井戸(修理費)、手作りマスク支援を行いました。一緒に学び、活動してくれる仲間を募集しています。(松野 至まで)